

平成30年度阪神地区学校図書館研究大会 尼崎大会

1 期 日 平成30年11月29日(木)

2 会 場 尼崎市立塚口小学校

3 日 程

13:15 13:40 14:25 14:40 15:20 16:50 17:00

受付	公開授業	移動	全体会(体育館)		閉会
			開会行事・講評	講演会	

4 大会主題 生きる力と豊かな心を育む図書館教育
～子どもたちのための学校図書館のあり方をもとめて～

5 主 催 阪神地区学校図書館連絡協議会

6 後 援 兵庫県学校図書館協議会
兵庫県教育委員会阪神教育事務所
尼崎市教育委員会

7 公開授業

学 年	授業者	教科・内容	場 所
成良中2年 (塚口小5年)	小崎 典子 (成良中学校)	国語科『「日本の昔話」を書き換えよう』	視聴覚室
塚口小6年	武田 由季 (塚口小学校)	国語科『探ってみよう!宮沢賢治の世界』 ～つながる・広がる・深まる～	6年2組教室
園田小4年	上野山 由紀 (園田小学校)	理 科『ヒトの体のつくりと運動』	図書室
立花北小2年	三宅 彩香 (立花北小学校)	国語科『2年1組のお気に入り詩しゅうを作ろう』	生活科室

8 全体会

(1) 開会行事

開会挨拶	阪神地区学校図書館連絡協議会	会 長	福田 明美
来賓挨拶	兵庫県教育委員会阪神教育事務所	副所長兼教育振興課長	新谷 浩一
	尼崎市教育委員会	教育長	松本 眞

(2) 講評

大阪教育大学大学院教授 木原 俊行 氏

(3) 講演会(対談)

演題	『本から広がる世界 — 「学習」と「読書」について — 』		
講師	童話作家	二宮 由紀子 氏	
講師	子どもの本専門店 メリーゴーランド店主	増田 喜昭 氏	

(4) 閉会挨拶 阪神地区学校図書館連絡協議会 副会長 小山 貴美子

9 参加者数 教員 201名 学校司書・図書ボランティア 47名 教育委員会 12名
来賓 11名 役員・理事 7名 合計 278名

10 研究冊子より

「尼崎市における学校図書館教育の取り組みについて」

(1) はじめに

尼崎市小・中・特別支援学校図書館 担当者会及び県S L A尼崎支部では、「読書センター」「学習センター」「情報センター」という学校図書館3つの機能を深く認識したうえで、学校図書館教育と読書活動の推進に取り組んでいる。各センターの機能を計画的に活用し、「生きる力と豊かな心の育成」「学ぶ意欲や学力の向上」をめざし、研究と実践に努めている。

(2) 尼崎市の実践

- ①学年別学校図書館活用指導年間計画表の作成
- ②読書センターとしての取り組み（◆児童生徒が自由に本を選び、読書活動を行う場 ◆教員や学校司書が児童生徒に読書指導を行う場）
 - 読み聞かせ・ブックトーク ○朝読書・帯読書 ○お話プレゼント ○読書郵便 ○ビブリオバトル ○本の福袋 ○読書記録 ○読書パズル ○読書指導の授業
- ③学習センターとしての取り組み（◆図書を使った調べ学習の場 ◆授業で必要な資料を調べる場 ◆児童・生徒が自ら学ぶ学習を支援する場）
 - 各教科での図書館利用教育
- ④情報センターとしての取り組み（◆図書メディアの利用について考える場 ◆授業であつかわれた作者や作品、テーマに関する資料を紹介する場 ◆学習の成果として完成したものを蓄積・展示する場）
 - 図書メディアを活用した授業 ○児童を引きつける学校図書館（環境整備）○学びのギャラリー
 - 新聞コーナーの設置 ○情報ファイル資料の収集 ○新聞社発行ワークシートの活用 ○ポスターの整理・保管
- ⑤尼崎市読書力向上事業指導補助員との連携・学校図書ボランティアとの連携・公共図書館との連携
- ⑥尼崎市図書館教育研究会事業
 - 尼崎市小学校読書感想文・感想画発表会 ○読書感想文・画集 ○春休み・夏休み・冬休みおすすめする本 ○おすすめする100さつの本 ○授業研究

(3) おわりに

本市では学校図書館が「読書センター」「学習センター」「情報センター」の機能を一層発揮するための学校図書館整備やカリキュラムの開発にも力を入れているところである。学校図書館が「読書活動の場」「学びの場」として、子どもの育ちを支える居場所になるよう今後も継続的・計画的に研究を推進していく。

